



第167号

発行所  
社団法人 芝蘭会  
京都大学医学部同窓会  
〒606-8315  
京都市左京区吉田近衛町  
TEL 075-751-2713  
FAX 075-752-4015  
E-mail: info@shirankai.or.jp  
http://www.shirankai.or.jp

主 な 内 容

- ② 臨床研修指導医講習会の歩み
- ③ 日米医学医療交流セミナー開催  
校友会・KMS・FUNDにより
- ④ 支部だより 近畿北 滋賀  
海外研修レポート  
人事異動・会員訃報

# 医学部表彰制度を創設 2008年分は 5 人に授賞

## 若手研究者優秀論文賞

京都大学医学部では、京都大学医学部教育研究支援基金(KMS・FUND)の支援事業として、平成21年より京都大学医学部に所属する院生、研究生等を対象とした表彰制度「京都大学医学部若手研究者優秀論文賞(KMYIA (Young Investigator Award))」を創設した。このKMYIAは、2008年(1月1日)から、

### 【基礎研究部門】

木村 浩明 (整形外科博士課程 4 年)  
論文題目: Cthrc1 is a positive regulator of osteoblastic bone formation  
掲載雑誌: PloS One, Vol. 3, Issue 9, e3174, 2008

祝迫 恵子 (肝胆膵・移植外科研究生)  
論文題目: Loss of Sept4 exacerbates Liver fibrosis through the dysregulation of hepatic stellate cells  
掲載雑誌: Journal of Hepatology, Vol. 49, 768-778, 2008

白川康太郎 (血液腫瘍内科)  
論文題目: Phosphorylation of APOBEC3G by protein kinase A regulates its interaction with HIV-1 Vif  
掲載雑誌: Nature Structural and Molecular Biology, Vol. 15, 1184-1191, 2008

### 【トランスレーショナルリサーチ部門】

小山田尚史 (内分泌・代謝内科研究生)  
論文題目: The Role of Mineralocorticoid Receptor Expression in Brain Remodeling after Cerebral Ischemia  
掲載雑誌: Endocrinology, Vol. 149, 3764-3777, 2008

### 【臨床研究部門】

朴 貴典 (内分泌・代謝内科研究員)  
論文題目: Therapeutic potential of atrial natriuretic peptide administration on peripheral arterial diseases  
掲載雑誌: Endocrinology, Vol. 149, 483-491, 2008

受賞者には、副賞5万円(図書券、資金は京都大学医学部教育研究支援基金KMS・FUNDが提供)が贈られることが決定しており、5月2日開催の医学部校友会総会において医学部研究科長名で表彰される予定である。2009年については現在選考中である。

2008年分KMYIA受賞論文として表彰されるのは別掲の5名(カッコ内は申請時の所属等)。(文責: 中尾一和)

## 学士院会員に中西名誉教授



は平成21年12月14日、日本学士院会員(第2部Ⅱ自然科学)に選ばれた。中西氏は、分子神経科学の研究を展開し、神経系の情報伝達と脳機能の発現の制御機構に関する画期的な成果を挙げた。中でも解析が困難で

路の伝達機構を個体レベルで解析できる新しい手法を開発し、これらの先駆的研究によって記憶、学習や視覚、嗅覚系の情報伝達の基本的な機構を明らかにした。同氏の研究業績は、独自の手法の開発のもとに神経情報の基本原理解を明らかにしたものであり、医学、生命科学の発展に大きく貢献するものである。

## 京都府文化賞・特別功労賞 井村名誉教授が受賞

井村裕夫名誉教授が、このたび、第28回京都府文化賞・特別功労賞を受賞された。授賞式は2010年1月26日(火) 11時より京都府公館「レセプション

ホール」において行われた。京都府文化賞は、昭和57年度に創設され、以来、京都府における文化の振興と発展を図るため、京都府文化の向上に寄与する功労があった人に授与するものである。



井村氏は、内科学、特に内分泌学、糖尿病学の臨床と研究に従事し、これらの研究により国内外の多くの賞を受賞。また日本学士院会員、米国学術科学アカデミー名誉会員にも選ばれている。さらに京都をはじめ日本の学術の発展、科学技術の振興、教育などの広い分野で活躍された業績により受賞された。

## 京大病院 iPS細胞・再生医学研究会

1月15日(金)に、第1回京大病院 iPS細胞・再生医学研究会を芝蘭会館にて開催しました。同研究会は、京大病院における iPS細胞、ES細胞及び体性幹細胞等を用いた再生医学研究の向上並びに成果の普及を図り、ひいては医療の発展に貢献することを目的として昨年11月に設置したものです。

第1回目となる今回の研究会では、iPS細胞研究センターの高橋和利先生ほかを招き講演が行われ、学内外から180名余りの参加がありました。

研究会では、中村孝志病院長の開会挨拶の後、講演が行われました。

まず、青山朋樹准教授(医学研究科人間健康科

開会挨拶を行う中村病院長 (産経新聞提供)



高橋講師による特別講演



# 初の研究会開き講演

状について報告がありました。

続いて、井上治久特定拠点准教授(iPS細胞研究センター)より、治療法のない遺伝性の筋萎縮性側索硬化症(ALS)に対して、病因タンパク質の転写抑制を指標にiPS由来のアストロサイトを用いて低分子化合物のスクリーニングを進める治療法開発の戦略について解説がありました。

中尾一和教授(京大病院内分泌・代謝内科)からは、ES細胞、iPS細胞から脂肪細胞や血管内皮細胞への分化方法を確立し、脂肪萎縮性糖尿病患者への細胞移植医療を目指している現状と、糖尿病克服を見据えたiPS細胞の膵β細胞への

## 先端医療の現状を紹介

分化研究への取り組みについての紹介がありました。

また、平家俊男准教授(京大病院小児科)より、京大病院でのヒト疾患特異的iPS細胞作成、利用における倫理面に配慮した臨床研究手続きについて概説の講演がありました。

引き続き、高橋和利特定拠点講師(iPS細胞研究センター)より、iPS細胞の医療応用の大きな可能性とともに問題点を述べ、細胞移植などの医療に使える安全性の高いiPS細胞の研究の新たな進展について講演がありました。

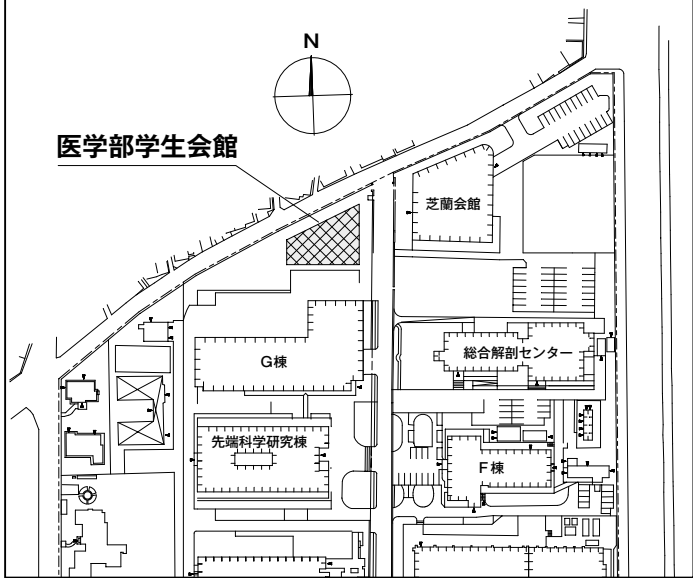
最後に、三嶋理晃副病院長より閉会挨拶が行われ、閉会となりました。







京都大学医学部学生会館配置図



# 学生会館建設予定地 埋蔵文化財調査始まる

学生厚生施設建設委員会 委員長 吉村 長久

埋蔵文化財調査が始まった学生会館建設予定地



医学部学生と医学研究科教職員が心待ちにして、建設予定地の埋蔵文化財の調査が1月から始まりました。

この学生会館は、配置図にあるように医学部構内の一番北の端、G棟の北側として芝蘭会館の西側に建設されます。建物

は、鉄筋コンクリート造4階建、延べ床面積1453.08平米で、24室のクラブ部室と6室の学習室・集会室、さらにはジム、多目的室など延べ41室が計画されています。総工費は2億円で、経費はKMS・FUNDにご寄附いただいた寄附金1億2000万円と本部からの借入金8000万円

を合わせ、埋蔵文化財調査は3月末までに終了し、新年度からはいよいよ本格的な建築工事が始まります。建物の竣工予定は、平成22年10月末です。この工事のため、建設予定地にあった植栽をかなり伐採する必要が生じました。一番残念なことは、毎年きれいな花を咲かせる桜の木を切ってしまう必要があったことでしょうか。桜は簡単には移植ができないこと、発生する費用を考えると新たに若い木を用意して植栽を整えるという選択肢を取らざる

## 寄附金1億7千万円余に

京都大学医学部教育支援基金委員会 医学研究科肝臓・移植外科教授 上本伸二

平成19年春にKMS・FUNDが設立されてから、もうすぐ3年が経ちます。図1・2に示すように平成22年1月末で寄附金申込人数は1067名で、申込金額は1億7266万円となっています。平成19年春にKMS・FUNDが設立されてから、もうすぐ3年が経ちます。図1・2に示すように平成22年1月末で寄附金申込人数は1067名で、申込金額は1億7266万円となっています。

# 京都大学医学部 校友会・教育研究支援基金 (KMS・FUND) だより

事務局  
〒606-8302  
京都市左京区  
吉田牛ノ宮町 11-1  
芝蘭会館別館  
Tel.075-761-2467  
Fax.075-752-1528  
Mail-Address:  
kyoto-kms-fund@office.  
med.kyoto-u.ac.jp

## 校友会第3回総会・講演会のお知らせ

日時 5月2日(日) 会場 芝蘭会館本館

総会 13:00 ~ 13:30

講演会 13:40 ~ 15:20

「京都大学医学部の歴史と使命」

医学研究科長 光山 正雄 教授

「臨床教育の潮流と京都大学の取り組み」

医学教育推進センター長 平出 敦 教授

「乳癌に関する最近のトピックス」

乳腺外科学 戸井 雅和 教授

「世界エイズ流行の新局面について」

国際保健学講座社会疫学 木原 正博 教授

特別講演会 15:30 ~ 16:30

「新しい霊長類学：人間の心とチンパンジーの心」

ゲスト講演者

京都大学霊長類研究所長 松沢 哲郎 教授

問合せ先 京都大学医学部校友会事務局 075(761)2467



松沢教授

## 5月2日に校友会総会・講演会 特別講演は 京都大学霊長類研究所長 松沢教授

平成22年度の第3回校友会総会・講演会は本年5月2日(日) 13時から例年通り、芝蘭会館本館・稲盛ホールで開催の予定です。13時40分からの講演会では光山正雄研究科長、医学教育推進センター長・平出敦教授、乳腺外科学・戸井雅和教授、国際保健学講座社会疫学・木原正博教授がそれぞれのご専門の領域から最新の話題を提供いただきます。15時30分からの特別講演には京都大学霊長類研究所長の松沢哲郎教授をお招きし、「新しい霊長類学：人間の心とチンパンジーの心」という演題で講演いただきます。松沢先生は1978年から開始された、雌のチンパンジーのアイたちに言葉を教えるプロジェクト(アイ・プロジェクト)などで知られ、現在はアイの子どもアムを、はじめ3組の母子を対象として、チンパンジーで

授がそれぞれのご専門の領域から最新の話題を提供いただきます。15時30分からの特別講演には京都大学霊長類研究所長の松沢哲郎教授をお招きし、「新しい霊長類学：人間の心とチンパンジーの心」という演題で講演いただきます。松沢先生は1978年から開始された、雌のチンパンジーのアイたちに言葉を教えるプロジェクト(アイ・プロジェクト)などで知られ、現在はアイの子どもアムを、はじめ3組の母子を対象として、チンパンジーで

過日、漫然とテレビ東京の「サブちゃん」と歌仲間「比叡の風」を観ていました。そのとき北島三郎の「比叡の風」が強烈な伴奏で流れるのを聴き、旋律と詞に強く感動しました。今、比叡山延暦寺執行・小林隆彰(81歳)と親交の深かった故郷藤実氏は、遺作「比叡の風」を、北島に託したとのこと。本年7月、北島は初めて叡山に登り、根本中堂にて「比叡の風」歌奉納をしたと番組で紹介していました。

「比叡の風」の冒頭は「荒行千里...」と始まる。古風な精神論は現代若者に理解されないと思うのですが、名門「京大医学部」の若者はすでに水準を超越し、「無我の心」に到達した若者集団と推察いたします。どうぞ能力を存分に発揮し、医学を発展させ人類に貢献いただきたいと祈念します。(2009年9月17日記)

の知識や技術の世代間伝播の研究に取り組みされています。また1986年からは、西アフリカ・ギニアのボソウの森で野生チンパンジーの道具使用調査などの生態調査も行っておられます。今回は世界的な霊長類学者として活躍される松沢先生のお話を伺うことのできる貴重な機会です。一般の方にもわかりやすいご講演をお願いしておりますので、多数の皆様のご来場をお待ちしております(入場無料)。また17時から芝蘭会館本館・山内ホールで懇親パーティーも予定しておりますので、ぜひご参加ください。(第3回校友会総会・講演会担当...上本伸二、高橋良輔)



## サブちゃんと歌仲間で 知った演歌「比叡の風」

校友会会員 奥津 良之

「比叡の風」の冒頭は「荒行千里...」と始まる。古風な精神論は現代若者に理解されないと思うのですが、名門「京大医学部」の若者はすでに水準を超越し、「無我の心」に到達した若者集団と推察いたします。どうぞ能力を存分に発揮し、医学を発展させ人類に貢献いただきたいと祈念します。(2009年9月17日記)

「比叡の風」の冒頭は「荒行千里...」と始まる。古風な精神論は現代若者に理解されないと思うのですが、名門「京大医学部」の若者はすでに水準を超越し、「無我の心」に到達した若者集団と推察いたします。どうぞ能力を存分に発揮し、医学を発展させ人類に貢献いただきたいと祈念します。(2009年9月17日記)

「比叡の風」の冒頭は「荒行千里...」と始まる。古風な精神論は現代若者に理解されないと思うのですが、名門「京大医学部」の若者はすでに水準を超越し、「無我の心」に到達した若者集団と推察いたします。どうぞ能力を存分に発揮し、医学を発展させ人類に貢献いただきたいと祈念します。(2009年9月17日記)

「比叡の風」の冒頭は「荒行千里...」と始まる。古風な精神論は現代若者に理解されないと思うのですが、名門「京大医学部」の若者はすでに水準を超越し、「無我の心」に到達した若者集団と推察いたします。どうぞ能力を存分に発揮し、医学を発展させ人類に貢献いただきたいと祈念します。(2009年9月17日記)

「比叡の風」の冒頭は「荒行千里...」と始まる。古風な精神論は現代若者に理解されないと思うのですが、名門「京大医学部」の若者はすでに水準を超越し、「無我の心」に到達した若者集団と推察いたします。どうぞ能力を存分に発揮し、医学を発展させ人類に貢献いただきたいと祈念します。(2009年9月17日記)



[illegible]